



# はなみずき

成生小学校 学校だより  
令和7年1月10日 No.1 1  
校長 渡邊 隆

## 1年間の総まとめとしての3学期

3学期が始まりました。1月8日(水)に行われた始業式では、子ども達の表情から、年末年始休業中にたくさんの人との出会いの中で、いろいろと思い出に残る出来事を経験できた充実感が感じられました。家族の人たちなどと過ごした時間は、子ども達にとって次へチャレンジしていくための大きなエネルギーになっていきます。残り少ない日数となりましたが、各学年とも最後の積み上げを行っていきたいと考えています。

さて、今回の始業式での講話で子ども達に伝えた事は、卒業に向けて6年生がどのように最後の積み上げを行っていくのか、についてでした。「初心忘れるべからず」という諺もありますが、最上級生として4月当初に抱いた自分の目指す姿と、今の自分が重ね合わさっているかをしっかりと見つめ、よかったところはそれ以上に、至らないところは粘り強く最後までチャレンジしていくよう、話したところです。また、5年生以下の下学年の人たちには、6年生をお手本として、今まで培ってきた力をより一層向上させていくよう伝えました。

### 3学期始業式

1月8日(水)に3学期の始業式を行いました。暖房可能な講堂ですが、寒さ対策として上着を着用しながらの実施となりました。短い学期となりますが、感染症に気をつけて、手洗い、換気、マスク着用など新しい生活習慣を実践しながら、元気に過ごせるようにしていきます。



### 校内書き初め会

1月9日(木)に校内書き初め会を行いました。講堂に、書写で毛筆を扱う3年生以上が集合し、学級で練習してきたことを生かして挑みました。毛筆は、墨を使って書くので、一画一画が一回勝負となります。筆に墨をどのくらい含ませるのか、穂先からどのくらい下ろして太さを調整するのか、始筆からはじめて終筆までの長さをどのくらいにするか、短い時間でしっかり判断して行わなければなりません。みんな真剣な表情で丁寧に取り組んでいました。また、書き終わった後の、ほっとした表情が印象的でした。10日(金)より各教室の廊下に掲示して、それぞれに鑑賞することとなります。学年だよりでもお知らせがあるかと思いますが、保護者の方々からも見ていただき、出来上がった作品について感想を伝えていただければと思います。



保護者の方の参観日時等  
1月14日(火)～24日(金)  
15時から17時まで

○2学期終業式に発表した内容を掲載します。2学期のことについて、しっかり振り返ることによって、3学期がとても充実したものになります。二人とも、できたことや反省したことを生かして、3学期への意欲を全校生へしっかりと伝えてくれました。

## 2学期終業式の振り返り

1年1組 すとう なぎさ

わたしは2がっきにがんばったことが2つあります。1つ目は、たいいくです。じきゅうそうのがくしゅうでは、4ふんかんはしるがくしゅがありました。わたしは、ながくはしるのがとくいではありません。でも、じぶんのはやさではしることをがんばりました。がんばったので、ながくはしりつづけるちからがつかえました。

2つ目は、ずこうです。オリジナルのすごろくをつくるがくしゅうがありました。わたしはむずかしいすごろくをつくりたいとおもったので、マスがたくさんつくって、こまかすぎてむずかしいすごろくにしました。おうちでおかあさんやおにいちゃんといっしょにあそびたいです。

もうすぐわたしたちは2年生になります。あたらしい1年生にかっこいいとおもわれる2年生になりたいです。そのために、3がっきももっとせいちょうできるようにしたいです。

これで、2がっきがんばったことのはっぴょうをおわります。



4年1組 押野 一翔

ぼくは、2学期いろいろなことにちょうせんし、たくさん学んで楽しくすごせたとおもいます。その中で特にがんばったことは、3つあります。

1つ目は、苦手な勉強をこくふくすることができたとおもいます。ぼくは、国語と理科が苦手でした。自学で漢字をたくさん書いたり授業をちゃんと聞いたりがんばりました。次は、得意をのばしたいです。

2つ目は、野球で高学年の足をひっぱらないで、できたとおもいます。例えば練習の終わりのかたづけを自分からできました。来年は、5年生になるので、今の6年生のように低学年をひっぱって行きたいです。

3つ目は、家の手つだいがたくさんできたとおもいます。ふるあらいは自分からたくさんできてよかったです。今は、弟に手をやいているので、お母さんのかわりにめんどうを見ていきたいです。

3学期は、低学年のお手本になって、もっと他の学年と関わりをふやして、低学年をひっぱって行きたいです。



## 避難訓練の様子から

県内では、9日からの積雪に注意するよう情報が出されていましたが、今回の避難訓練は、防火扉への対応及び積雪時の避難でしたので、実施の判断をして取り組みました。冬は、これまで使用できた避難経路が落雪等のため使えないところもあります。そのことも子ども達に伝えながら、避難を行いました。防寒着を着用して、寒さ対策も行いながら実施しましたが、これまで繰り返し伝えてきた「自分の命は自分で守る」ということの確認もできました。

この時期は乾燥しやすく、ニュースでも度々火災に関する痛ましい内容が伝えられています。子ども達には、改めて自分事として、避難時の約束がしっかり行えるようにしていきたいとおもいます。

